

社会資本総合整備計画事後評価書

平成 28 年 6 月 29 日

計画の名称	住環境および歴史的風致の維持向上															
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)					交付対象	彦根市									
計画の目標	<p>公営住宅の水洗化、下水道接続、高齢化対応を進めることにより、快適で安全性の高い住宅を供給する。                  歴史的風致維持向上計画重点地域内において、歴史的風致形成建造物の保存活用ならびに歴史を活かした小公園等の地区施設整備を実施することにより、                  歴史文化遺産を活かした彦根市らしい住環境の保全を図る。</p>															
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公営住宅の水洗化の割合</li> <li>公営住宅の高齢化対応の割合</li> <li>街なみ環境の整備による交流人口の増加</li> </ul>															
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値		備考				
										当初現況値 (H23当初)	中間目標値		最終目標値 (H27末)			
①	高齢化や障害者に配慮した改修を実施した公営住宅の割合 高齢化対応率 = 高齢者や障害者に配慮した改修を実施した公営住宅数 / 全公営住宅数									36%		40%	市内7箇所の観光地内訳 彦根城・彦根城博物館・埋木舎・あかり館・俳遊館・街なかプラザ・街なか博物館・ 各イベント 桜まつり・七夕まつり・ゆかたまつり・花しょうぶまつり・万灯流し・城まつり・総おどり・錦秋ライトアップ・その他			
②	公共下水道の接続等水洗化した公営住宅の割合 水洗化率 = 公共下水道の接続等水洗化した公営住宅数 / 全公営住宅数									51%		55%				
③	旧城下町地区の観光入り込み客数の増加 (旧城下町地区の主要観光施設10箇所およびイベント時の入り込み客数を調査) 一年における旧城下町地区の観光入り込み客数 = 旧城下町地区内10箇所の観光地の入り込み人数 + イベント時の入り込み人数									1,400千人		1,470千人				
全体事業費	合計 (A+B+C)	234.6百万円	A	234.6百万円	B	-	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%					
事後評価 (中間評価)																
○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期																
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期										
本市事業担当課および事業に関わる課 (建築住宅課および都市計画課、文化財課) にて事後評価を実施						平成28年4月										
						公表の方法										
						市ホームページにて公表										
1. 交付対象事業の進捗状況																
交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
1-A1-1	住宅	一般	彦根市	直接	市	地域住宅計画に基づく事業 (公営住宅整備事業等)	春日団地、広野第2団地、大東団地の個別改善工事	彦根市						135.2		
1-A1-2	住宅	一般	彦根市	直接	市	地域住宅計画に基づく事業 (住宅地区改良事業等)	地区内団地個別改善工事、空き家再生等推進事業	彦根市						22.0		
1-A1-3	住宅	一般	彦根市	直接	市	街なみ環境整備事業 (旧城下町地区)	歴史的風致形成建造物および地区施設の整備等	彦根市						77.4		
小計													234.6			
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅35戸、改良住宅4戸のバリアフリー化を実施し、バリアフリー化の割合の実績値が41%となった。</li> <li>・公営住宅26戸、改良住宅4戸の下水接続、トイレの水洗化を実施し、公共下水道接続の割合の実績値が55%となった。</li> <li>・歴史的風致形成建造物（辻番所および組屋敷）の保存修理を実施し、城下町の風情が残る歴史的景観の形成に繋げることができた。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（高齢化 対応率）	最終目標値	40%	目標値と実績値 に差が出た要因	当初計画以外の市営住宅においてもバリアフリー化を実施し、目標値の40%を上回った。
		最終実績値	41%		
	指標②（水洗化 率）	最終目標値	55%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	55%		
	指標③（一年に おける旧城下町 地区の観光入り 込み客数）	最終目標値	1,470千人	目標値と実績値 に差が出た要因	最終年度の目標値に対して、施設の入込客数は10%程度増加したが、周辺で行われたイベントの入込客数は天候の影響を受けたこと等の関係もあり目標値を下まわった。なお、5年間の平均入込客数は、計画当初を上回る1,463千人と最終目標値に近づけることができた。
		最終実績値	1,438千人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅については、快適性および安全性の高い住宅としてストック改善の推進を図れた。</li> <li>・歴史的風致形成建造物の保存修理後は、地域のまちづくり活動の拠点施設として活用されると共に、内部を一般公開するなど旧城下町における歴史資源の回遊スポットとなっている。</li> </ul>			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画後も引き続き、彦根市公営住宅長寿命化計画に基づき、良質な公営住宅のストックを形成していく。</li> <li>・歴史的風致形成建造物の保存修理を広げ、旧城下町地区の歴史的風致の向上に努める。</li> </ul>					

(参考様式3)

